



野菜栽培と未舗装道路の粉塵及び水路の整備に関する陳情

【件名】野菜栽培と未舗装道路の粉塵及び水路の整備に関する陳情

【要旨】野菜栽培に伴う和光市未舗装道路からの粉塵対策及び土砂やゴミなどで機能できない水路対策願

【理由】当方は、約 30 年に渡り耕種農業（野菜生産）を行ってまいりました。

以前は、市場出荷や直売センターなどに出荷してまいりました。現在は大手スーパーと契約し直接販売を行っている一方で、和光市直売組合を通し、市内の小中学校（学校給食）へも納めているところでもあります。

この農地に隣接する道路は、未舗装であり、市の職員からこの調整区域の道路整備（アスファルト舗装）は順次整備していくと聞いていますが、いまだに未整備であります。

農地の周囲の環境は日々大きく変わり、ダンプや大型トラックの往来が激しく路面の乾いた日は砂ぼこりがひどく風により野菜の上へ降り積もり、キャベツやチンゲン菜、サニーレタス、ブロッコリーなどは、水で洗ってもなかなかきれいにならず大変苦慮しています。また、先日は学校給食へ小松菜を納めた数日後に栄養士さんより、削り節大の木片が入っていたと指摘されました。スーパーからは、キャベツとサニーレタスの底部の土汚れを指摘され、（一般的には洗浄不要）一つ一つ洗っての出荷となり、労力や生産コストも増しております。

今年作付けし 5 月に収穫期に入ったサニーレタスは、葉裏に発症したカビにより葉面が黄化し 800 玉を超える量を廃棄しました。こういったカビはとても微細で砂誇りや土などに付着し風などによって野菜に運ばれ発病します。葉の表面の砂や土は雨によって流され葉の付け根にたまり、そこから発病し下葉が腐ります。

その例として、温室などビニールに覆われたハウス栽培では、葉がきれいで発病しにくいのです。

地産地消の観点からも安全で安心な野菜を子供たちに提供する妨げになっている未舗装道路の整備をお願い致します。

また、以前整備を行った当該農地の奥に水路があり、大雨などの雨水を流すコンクリート U 字溝がありますが、設置後一度も整備を行わず現在では風雨により土砂やゴミなどでいっぱいになっており、大雨時には本来の機能を生かせないと思いますので、土砂やゴミなどの撤去整備も合わせてお願い致します。

この件につきましての財源として、本年 4 月 23 日に開かれた 白子第二耕地整備組合の土地用地取得に関する説明会において、当市職員より取得した土地譲渡益については当該地域の農地整備に充てると明言されておりますので、それを財源として提案いたします。

資料 1 地図（下新倉塚田町2323～2325）

資料 2 写真

平成 28年 5月 25日

和光市議会議長

齊藤 克己 様

陳情代表者

住 所 和光市下新倉2丁目41番5号

氏 名 深井 宏之

(ほか 名)

資料 1



